

NPO ワンポイントアドバイス!

■「NPO」の言葉の意味は…

NPOは、Non-Profit-Organization（ノン・プロフィット・オーガニゼーション）という言葉の頭文字を表した言葉で、「非営利組織」と直訳され、営利を目的としない組織ということになります。ただし、行政機関と区分するため「民間非営利組織」と訳されることが多いようです。

■「NPO」と「ボランティア」はどう違うの？

自主的、自発的に問題解決に向けた行動を行うという点では同じですが、「NPO」は非営利組織というように“組織(団体)”を表し、「ボランティア」は“個人”を表す言葉です。

NPOは目的を達成するために運営のルールを持ち、組織的、継続的に活動を行うとともに、提

供するサービスに見合う対価を受け取ることもできる組織(団体)であるのに対し、ボランティアは個人が個人の責任の範囲でできる活動を無報酬で行うというイメージです。

■「NPO」と「NPO法人」はどう違うの？

NPOの多くは、法人格を持たない任意団体として活動していましたが、団体として「銀行口座が開設できない」「不動産登記ができない」などの不都合がありました。このような不都合を解消するために、平成10年に特定非営利活動促進法(通称「NPO法」)が制定され、一定の要件を満たし、所轄庁の認証を得た団体が特定非営利活動法人(通称「NPO法人」)となることができるようになりました。

「NPO」とは、広くは非営利活動を行う団体を指す言葉であり、NPOのなかで、NPO法に基づいて設立された法人を「NPO法人」と呼びます。

特定非営利活動法人 つわの花(有明町)の子育てサークルに参加した皆さん



市民による“日本の宝島”天草づくり NPOをはじめとする市民活動団体が活躍するまちづくりの実現に向けて

最近よく「NPO」という言葉を耳にしたり、目にしたりしませんか？『NPOってボランティア活動なんでしょう』あるいは『NPOはお金を稼ぐことはできるのですか』といった問い合わせもあります。そこで今月号では、この注目されている「NPO」とは何か、「NPO」の活動とはどのようなことがあるのかなどをお知らせします。

NPOって何？

- 例えば、皆さんの地域で次のような活動をしている、市民の皆さんはいませんか。
- 地域の高齢者に食事を作って届けている
- 児童・生徒の登下校を見守っている
- 花壇を作って花いっぱいにしていく
- 放課後保育や学童保育などの子育て支援をしている
- 耕作放棄地を減らし環境改善に取り組んでいる
- 男女共同参画社会の実現に向けた講座を開催している
- 障がいのある人たちといっしょに活動している
- 特定の疾患を持っている患者やその家族の支援を行っている



▲NPO法人グリーンライフあまくさ主催のジャガイモ掘り体験事業

「NPO」と呼ばれています。先ほど述べた活動は、一部の例にすぎませんが、NPOの皆さんの活動はすべてが同じ内容を行っているのではなく、それぞれの団体が自分たちが目指す思いや目的に基づいて活動するとともに、その内容もさまざまです。

NPOの皆さんは、『みずからの意思でなんとか自分たちの住むところをもっと良くしていきたい』あるいは『困っている人たちを何とか助けたい』という気持ちや思いを、活動・事業として取り組む市民の集まりなので

注目され頼りにされるNPOの存在

今、全国各地でNPOは注目されています。そして、NPOの活動も広がりを見せています。

なぜ、このような活動が社会全体に広がっているのでしょうか。それは、皆さんが暮らす社会の課題や問題が多様化・複雑化し、増加していることがあげられます。

これに伴い、これまで行政や企業で取り組み対応してきたことが、十分にできないといった市民社会の変化というものがあります。

行政が平等にサービスを行うとするときには、多くの人の理解と了解が必要で、時間もかかります。

では、企業はどうでしょうか。利益の上がないサービスを行うということは、考えにくいものです。

NPOはこうしたことに自発的かつ迅速に、そして柔軟に対応している団体です。また、NPOがいろいろな活動

に取り組むのは、解決すべき課題やニーズがあるからです。

ときには、「問題があるよ」というような方法で社会に投げ掛けをし、こころざしをともにする仲間といっしょに社会の制度や仕組みを変えていく存在にもなっています。

すでに国際化した社会の中にある今日、これからはますます多様・複雑化していくからだからこそ、NPOの活動や組織は頼りにされ、注目を集めているのです。

地域の活性化という思いを“かたち”に

吉田和正さん
(天草町下田北)



歴史・情緒あふれる温泉街、美しい夕日が沈む最高の西海岸、海山の幸など、天草町下田は観光地としての素材をたくさん備えています。

しかしながら、観光客の減少、地域活力の低下などが浮き彫りとなっているのも事実です。このままでは、何十年たっても変わらない…どうすれば街並みを維持し、地域を活性化させていけるかということを以前から考えていました。

「自分たちにもできることがある」という気持ちもあり、地域の有志10人で“まちづくりを考える会”を発足させ、いろいろなことを勉強しながら、環境美化活動などを続けています。

活動を継続するには、法人化という選択も視野に入れていますが、まずは足元からできる活動を積み重ねて、より良い地域づくりに貢献していきたいと思っています。